



# 2025年6月期 第3四半期決算説明資料

株式会社 WOLVES HAND

2025年5月





## *Contents*

---

1. **2025年6月期 第3四半期決算の概要**
2. **特徴・強み（競争力の源泉）**
3. **今後の戦略**



## 2025年6月期 第3四半期決算の概要

1



## 2025年6月期 第3四半期 連結業績実績



- 売上高は既存病院の増収及び自社開院した多摩の森動物病院、M&Aを実施した(株)そよかぜ及び(株)バハティ어의寄与もあり前年同期比増収
- 営業利益はM&A関連費用57百万円、上場に伴う費用4百万円等の一時費用の発生により前年同期比減益も、一時費用の影響を除けば、前年同期比増益

(単位：百万円)

|                      | 2024年6月期<br>3Q累計実績 | 2025年6月期<br>3Q累計実績 | 増減額    | 増減率   | 主な増減理由  |
|----------------------|--------------------|--------------------|--------|-------|---|
| 売上高                  | 3,523              | <b>3,803</b>       | +280   | +7.9% | 既存病院の増収、2024年8月にM&Aを実施した(株)そよかぜ、2025年2月にM&Aを実施した(株)バハティ어가寄与 |
| 営業利益                 | 516                | <b>469</b>         | ▲47    | ▲9.0% | M&Aや上場に伴う一時費用等の計上及び外形標準課税適用法人となったことによる租税公課の増加               |
| 経常利益                 | 508                | <b>509</b>         | +1     | +0.4% |   |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 310                | <b>301</b>         | ▲9     | ▲3.0% |   |
| EBITDA ※             | 751                | <b>726</b>         | ▲25    | ▲3.4% |   |
| 1株当たり四半期純利益          | 41円80銭             | <b>40円28銭</b>      | ▲1円52銭 | ▲3.6% |   |

※EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費

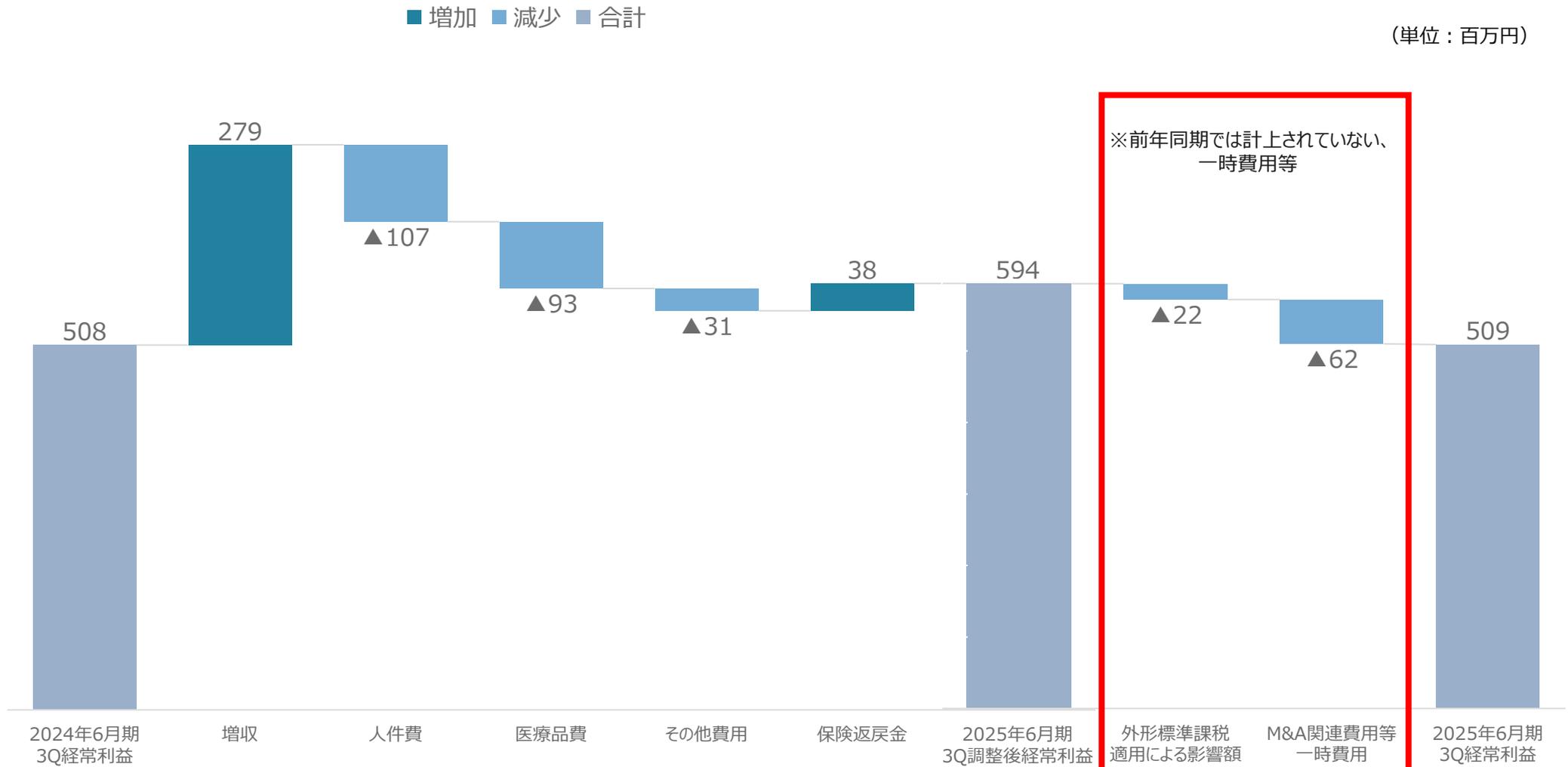
| ※参考          | 2024年6月期<br>3Q累計実績 | 2025年6月期<br>3Q累計実績 | 増減額 | 増減率   | 主な増減理由   |
|--------------|--------------------|--------------------|-----|-------|--|
| 前年同期比増加一時費用等 | -                  | <b>84</b>          | +84 | -     | M&A関連費用57百万円、株主総会等上場に伴う一時費用4百万円、外形標準課税適用による租税公課22百万円 |
| 調整後営業利益 ※    | 516                | <b>554</b>         | +38 | +7.4% |  |

※調整後営業利益 = 営業利益+一時費用等

# 経常利益増減要因



● 人員の増加やM&A・上場に伴う費用等の一時費用が増加するも、経常利益は前年同期比増益となる



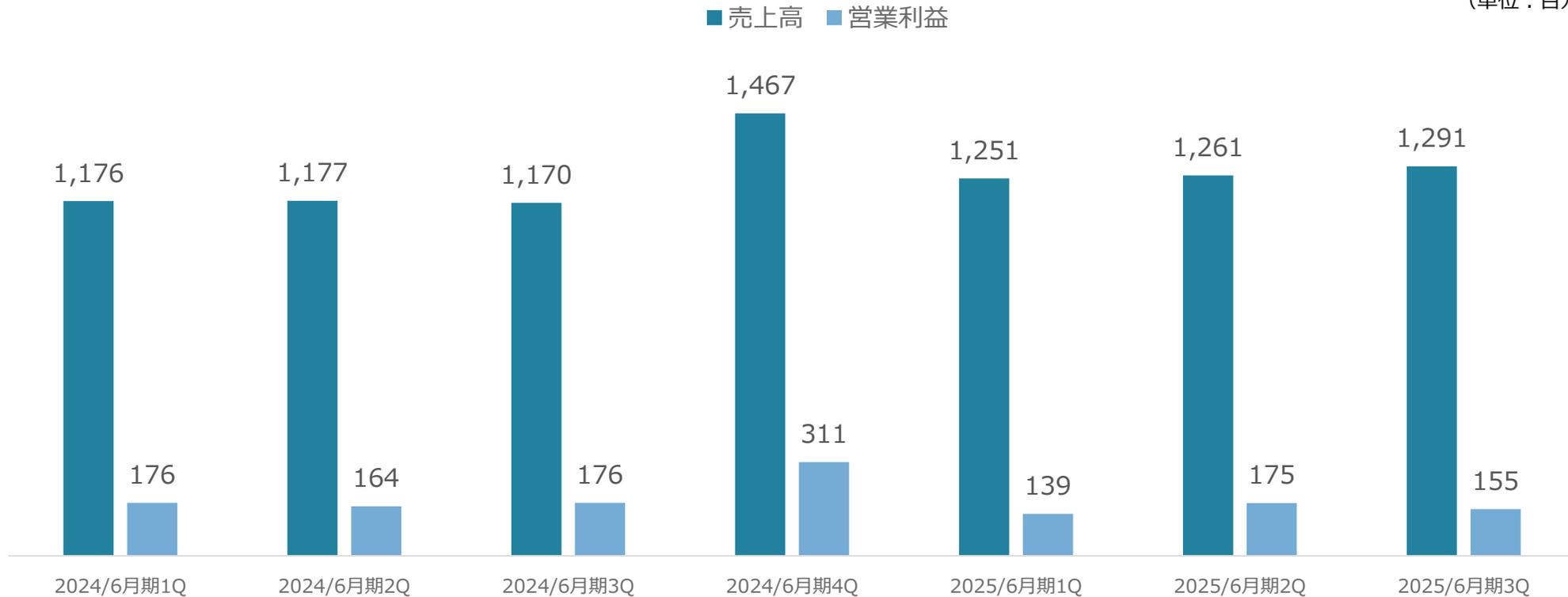
## 売上高・営業利益 四半期推移



- 既存病院の増収やM&A等によりQoQで増収となる
- 2025/6月期1Q、3Qでは、M&A関連費用及び外形標準課税適用により販管費が増加
- 四半期における業績は、4Qにおいて売上高及び営業利益が偏重傾向

売上高・営業利益 四半期推移

(単位：百万円)



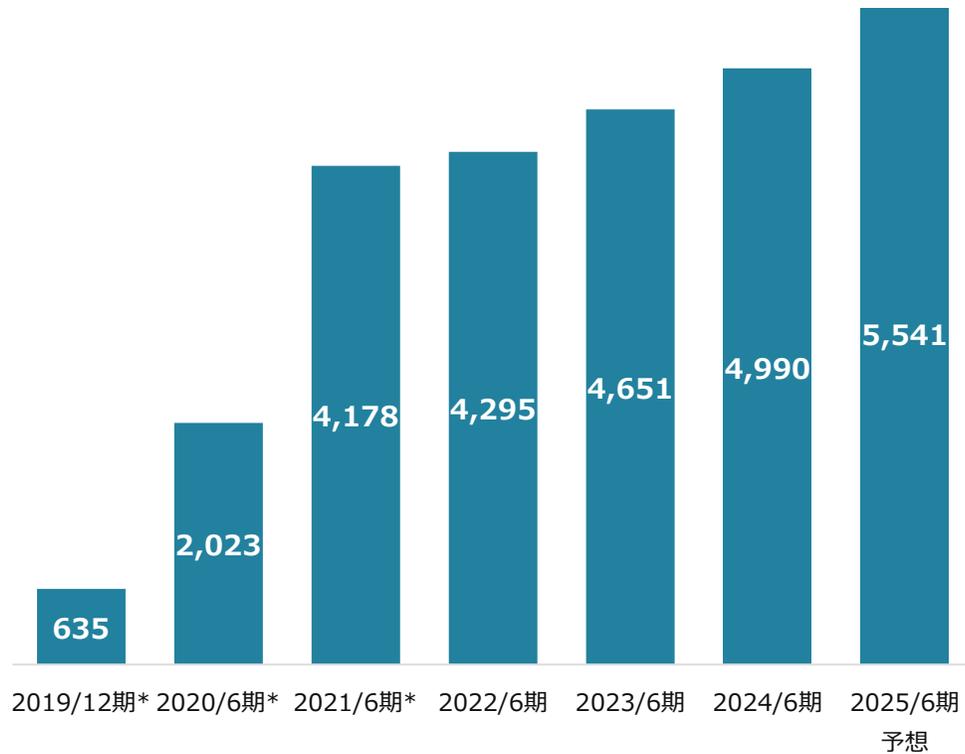
# 経営指標の推移

- 2019年の設立以降、増収増益を継続中
- EBITDAマージンは20%超



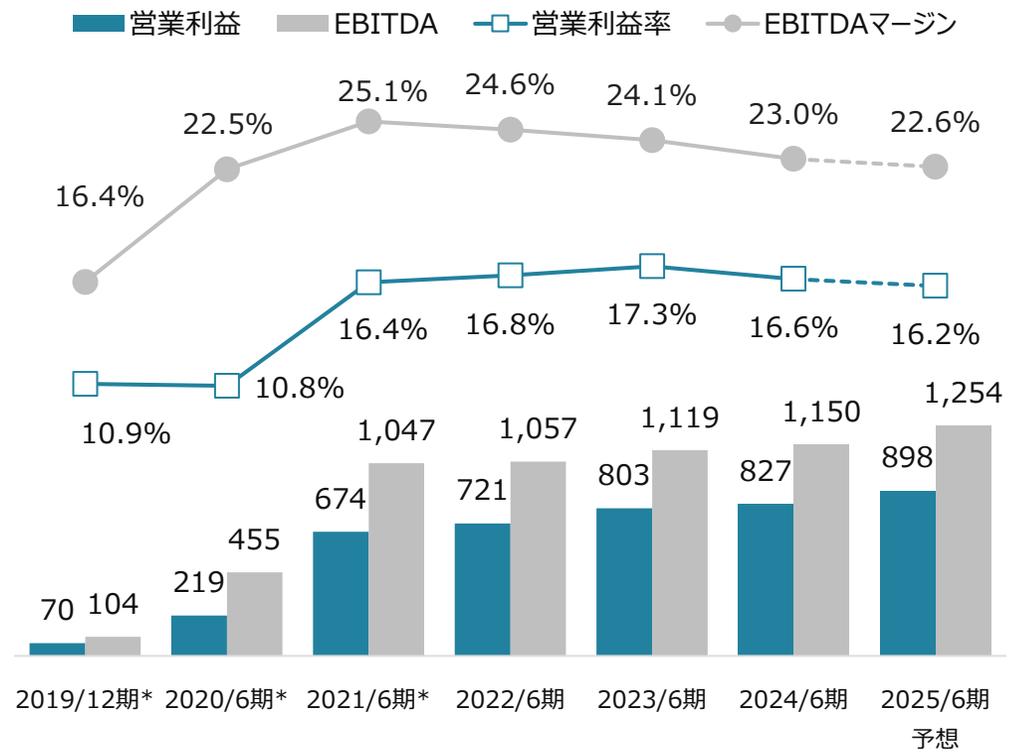
## 売上高の推移

(単位：百万円)



## 利益及び利益率の推移

(単位：百万円)



\*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

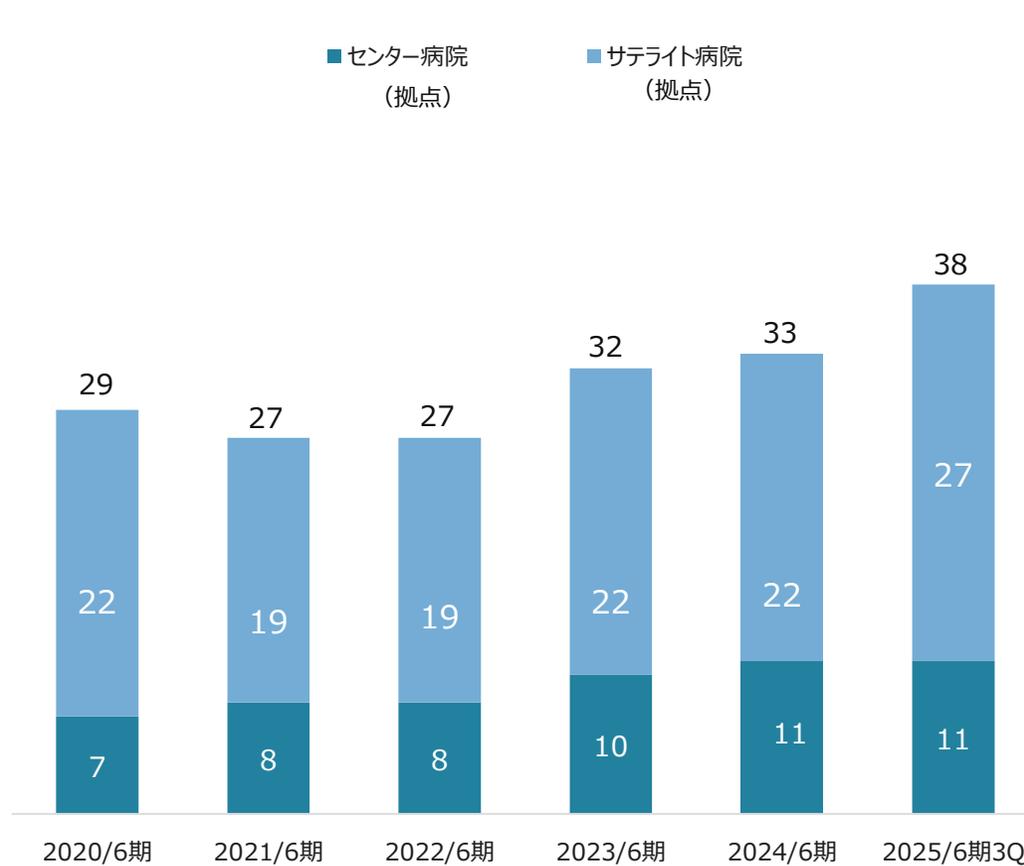
\*2019/12期は9ヵ月、2020/6期は6ヵ月の変則決算（2019/12期は、2019/6に動物病院事業取込み、実質的に事業開始） 2021/6期以前は単体決算

# 動物病院数、診療件数&診療単価の推移

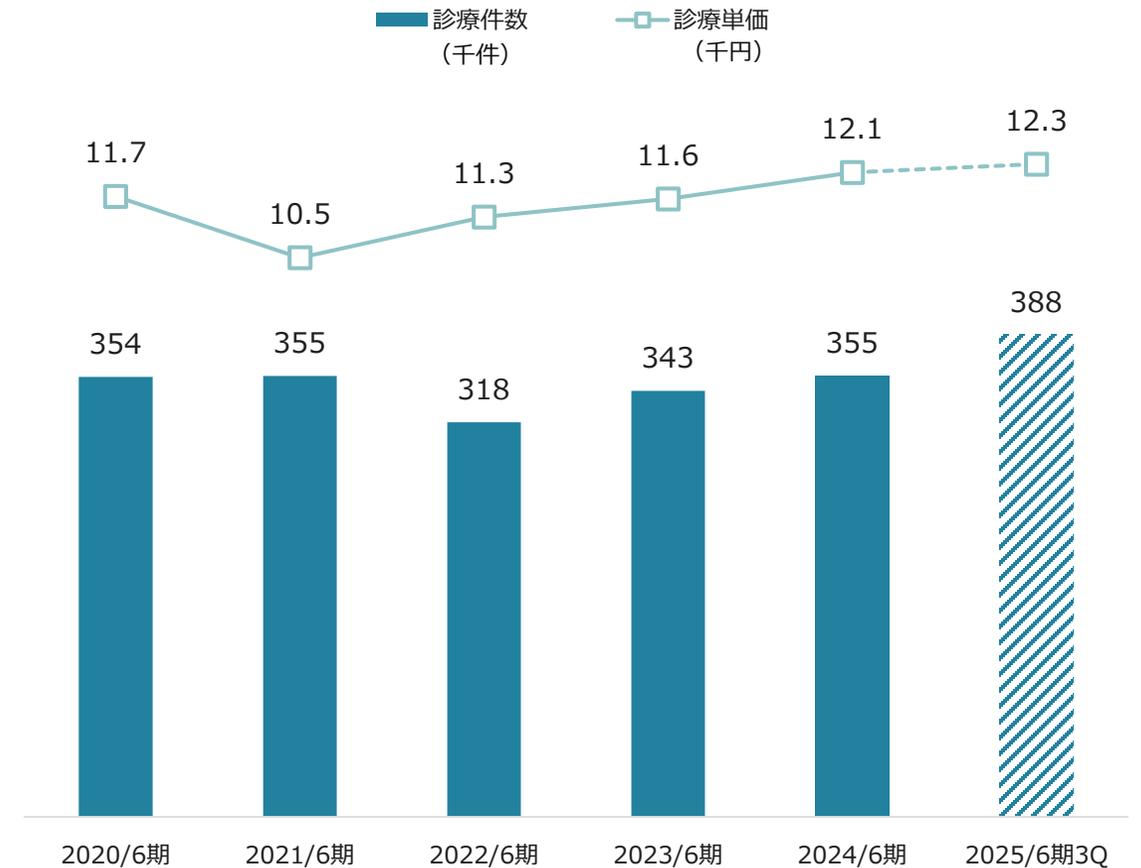


- 動物病院数は(株)そよかぜ及び(株)バハティーのM&Aにより4拠点、事業譲受により1拠点、自社開院した多摩の森動物病院1拠点の計6拠点増加する一方、高輪台動物病院1拠点を閉院したことで、2025年3月末時点で38病院となる。
- 診療件数は2022/6期以降増加中

動物病院数の推移



診療件数の推移



\*2020/6期は6ヵ月の変則決算、25/6期は3Qであり、診療件数は年率換算数字

## バランスシートの状況



- (株)そよかぜ株式、(株)バハティール株式の取得等により現預金は前期末比減少
- (株)そよかぜ、(株)バハティールを連結範囲に含めたことにより固定資産は前期末比増加

(単位：百万円)

|               | 2024年6月期 | 2025年6月期<br>3Q末 | 増減額  | 主な増減理由                            |
|---------------|----------|-----------------|------|-----------------------------------|
| 流動資産          | 1,297    | <b>1,092</b>    | ▲205 |                                   |
| 現預金           | 910      | <b>552</b>      | ▲358 | (株)そよかぜ、(株)バハティール株式取得及び事業譲受による減少  |
| 売掛金           | 237      | <b>310</b>      | +73  |                                   |
| 固定資産          | 4,487    | <b>4,690</b>    | +203 |                                   |
| 建物及び構築物       | 861      | <b>850</b>      | ▲11  |                                   |
| 土地            | 1,624    | <b>1,624</b>    | +0   |                                   |
| のれん           | 1,471    | <b>1,676</b>    | +205 | (株)そよかぜ、(株)バハティールを連結範囲に含めたことによる増加 |
| 資産合計          | 5,784    | <b>5,783</b>    | ▲1   |                                   |
| 流動負債          | 1,130    | <b>1,120</b>    | ▲10  |                                   |
| 一年内返済予定の長期借入金 | 457      | <b>454</b>      | ▲3   |                                   |
| 未払金           | 247      | <b>242</b>      | ▲5   |                                   |
| 固定負債          | 2,540    | <b>2,248</b>    | ▲292 |                                   |
| 長期借入金         | 2,423    | <b>2,144</b>    | ▲279 | 約定返済による減少                         |
| 負債合計          | 3,670    | <b>3,368</b>    | ▲302 |                                   |
| 純資産           | 2,113    | <b>2,414</b>    | +301 |                                   |
| 負債・純資産合計      | 5,784    | <b>5,783</b>    | ▲1   |                                   |



## 特徴・強み（競争力の源泉）

# 2





I

**どんな症例にも一貫対応可能な動物医療シームレス体制**

II

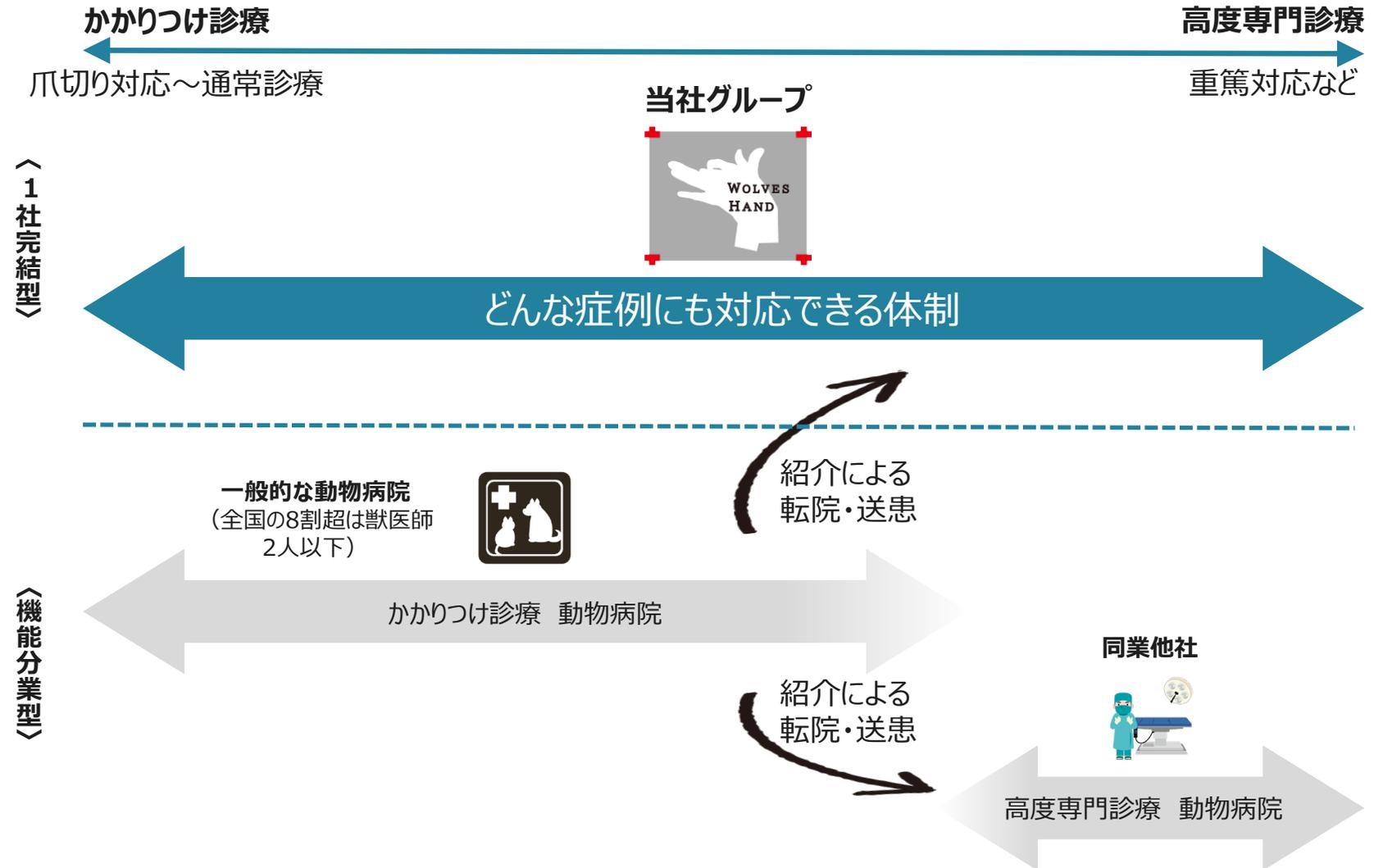
**機会提供による獣医師診断力向上の仕組み**

III

**評判を軸とした事業拡大の好循環スキーム**



- 一般的な動物病院は機能分業型が主流。かかりつけ診療と高度診療は別病院対応となっており、高度診療は紹介で受入れ
- 一方、当社はかかりつけ診療から高度専門診療まで一社で完結。外来・紹介双方にも対応できる一社完結型の動物病院は業界では少数派と認識





## 当社が選ばれる理由

動物飼い主の不安に対し結果を出し、ペットコミュニティでの口コミ、評判が浸透

- 動物飼い主の不安に対し、当社はそれらを緩和できる体制で対応
- 結果を出すことにより、近隣のペットコミュニティでの口コミ、評判浸透により、選ばれる対象に

### 動物飼い主の本音

- ✓ 動物は話せないため、どの病院が本当に腕が良いかわからない
- ✓ ペットが重い病気となった場合、病院のたらい回しは不安が募る
- ✓ 対ペット、対飼い主できちんとコミュニケーションしてくれる獣医師が有難い



## WOLVES HAND

シームレス一貫体制により、飼い主の不安を緩和

- 高度医療も自社対応が可能のため、病院たらい回し回避を実現
- 当社病院で「必ず治療成果を出す」意識の徹底
- 通常医療も携わるため、普段から飼い主と密接なコミュニケーションを構築

近隣のペットコミュニティでの口コミ・評判浸透により、「選ばれる動物病院」に



## 若手獣医師の育成システム

診療機会提供、技術継承、人事適正化などにより、早期戦力化システムとしてパターン化

- 当社の強みを持続させるには若手獣医師の実力育成は最重要課題
- 診療機会の提供、技術継承、人事適正化などにより、若手の向上意欲に訴求。早期戦力化システムとしてパターン化
- こうした若手獣医師の育成の仕組みがベテランに頼らず、新卒採用でのカバーを実現するカギに

### 経営の最重要方針

若手獣医師の実力育成



1

#### 一貫体制に伴う豊富な診療機会の提供

あらゆる症例への対応を実践  
それらを通じ、経験値を着実に積上げ

2

#### ベテラン医師からの技術継承機会の提供

臨床を通じて技術と知識を継承  
当社病院は1拠点当たり約3人の獣医師を配置  
複数の獣医師チームにより、若手が相談できる体制を構築

3

#### やる気に応じた人事登用システムの適用

マネジメント志向、職人志向など、各人の志向に応じ、  
選択肢を提供  
入社3～5年で病院長に抜擢も

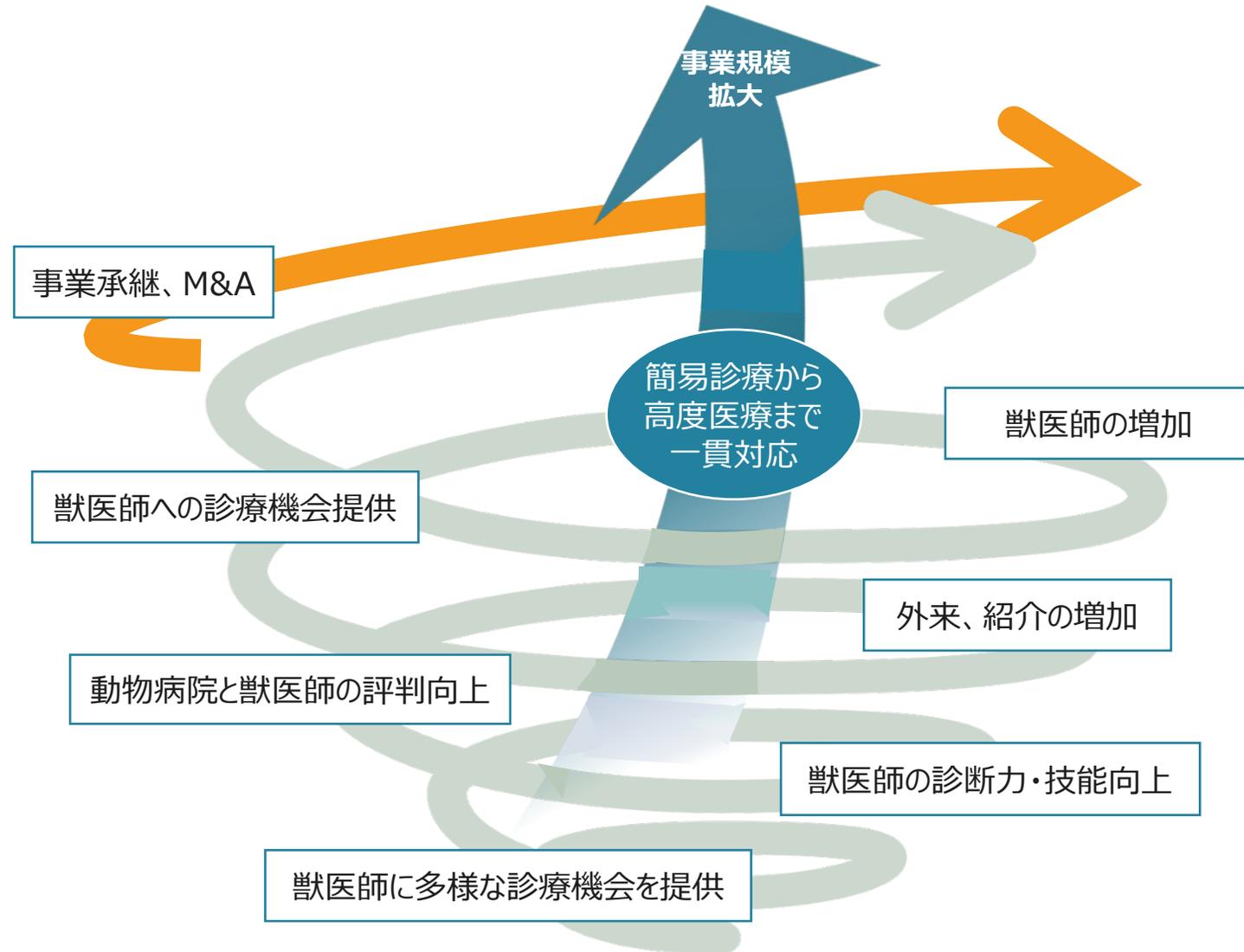
若手獣医師の早期戦力化を実現



## 自己増殖力

一貫対応を原点に獣医師の育成に注力した結果、ビジネスは好循環モデルを形成

- 一貫対応を原点に獣医師の育成に注力した結果、当社の顧客訴求力も上昇
- それが更なる診療機会拡大に繋がるという好循環を形成するという持続的事業規模拡大の循環モデルを構築





今後の戦略

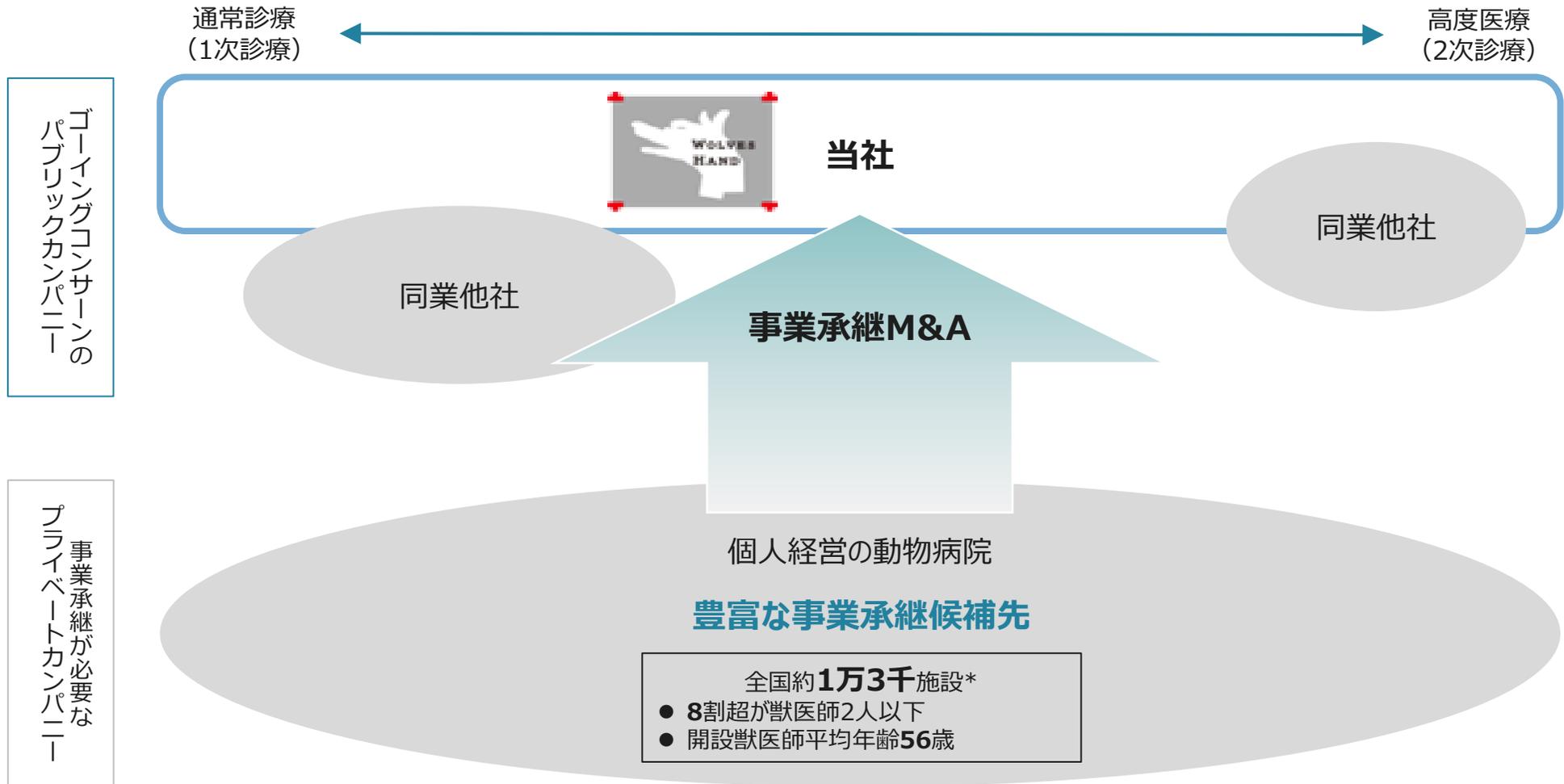
3



# 事業承継・M&Aの積極的実施



- M&A及び事業承継のニーズが今後高まる中、当社は1次診療から2次診療までを一気通貫で実施している特性から受入範囲が広範
- 特性を活かして事業承継及びM&Aを積極的に推進（2024年8月に(株)そよかせ、2025年2月に(株)バハティ어의M&Aを実施）



\*農林水産省HP「飼育動物診療施設の開設届出状況（診療施設数）」「獣医師の届出状況（獣医師数）」より当社作成



本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

**【お問合せ先】**

**株式会社WOLVES HAND 経営管理本部**

**電話 : 06-6599-9106**

**Mail : [info@wolveshand.jp](mailto:info@wolveshand.jp)**